

オバマ氏広島訪問

核なき世界へ具体的行動こそ

平戸市でも、核兵器廃絶へ取り組みの充実を

オバマ大統領

領が広島爆心地の公園に足を運び、被爆者らを前に、「核兵器なき世界を追求」と演説しました。

しかし、米国は国連総会での、「核兵器禁止条約の国際交渉開始を求める決議」に毎年、反対です。日本は毎

年、反対です。日本は毎



長崎平和祈念像

年、棄権です。国連はスイスのジュネーブ

で核兵器禁止へ、作業部会を開催中ですが、長崎大学核兵器廃絶研究センターの中村桂子准教授は、日本政府を、新聞で下記のように批判しました。

「日本や豪が核兵器禁止に反対の論陣を張った。日本は核抑止力が必要との見解を主張し、非核保有国から厳しい批判を浴びた。日本がすべきことは、核兵器に依存しない安全保障に向け、かじを切ることではないだろうか」

【山崎】日本政府の姿勢をどう考えますか。

【市長】国政へのコメントは差し控えます。

山崎市議は核兵器廃絶への取り組みを提案してきました。市は、昨年から原爆ポスター展を開催しています。

【山崎】世界7000超の都市が加盟する平和首長会議では、核兵器廃絶に向け、さまざま取り組みでいます。加盟都市に、被爆樹木の苗木を送ることや、アニメ「はだしの

ゲン」の貸し出しなどです。平戸市でも、取り組んではどうでしょうか。

【総務部長】今後の検討課題とします。

上大垣開発の税収は700万円超

開発による被害対策に活用を



上大垣地区の太陽光発電

定資産税が生じました。市は山崎市議に対して、太陽光発電と大型店1店による市税収は、毎年約700万円と説明しました。2つ目の大型店を加えると、さらに大きな税収です。

【山崎】開発によって、風や雨の被害が生まれています。開発による税収で対策を行うべきでは？

【財務部長】固定資産税は使途が特定される財源ではありません。

災害から市民を守るため、

真剣な取り組みを

【山崎】東日本大震災では、災害から逃れる緊急避難場所と、避難生活を送る避難所が区別されていなかったことが、被害拡大の一因となりました。それを教訓に、災害対策基本法を改定し、緊急避難場所と避難所を区別しました。平戸市では、未だに区別されていません。

熊本地震では仮設住宅の建設用地が未定だったことが被害を大きくしました。平戸市でも未定です。

市民の命や財産を守る災害対策が、本当にできるのか疑問ですが、

【市長】法令に基づく対応は、きちんと整理していきます。

参院選挙の結果について

参議院議員選挙は、「自公と補完勢力」対「4野党プラス市民」という、かつてない選挙でした。

野党と市民の共闘が、11の1人区で自民党候補に勝利したことは、重要な成果です。

日本共産党は改選議席を3から6へと、倍増させました。比例の得票は、前回の5

15万4千票（得票率9・68%）から、601万6千票（得票率10・74%）へと前進しました。今回は、1983年に

現在の選挙制度が実施されて以降、2番目に高い得票・得票率でした。

ご支持をお寄せいただいた有権者のみなさんに、心からのお礼を申し上げます。

平戸市の2016年参院選の結果（敬称略）

	西岡秀子	金子原二郎
得票	4,954	12,315

野党4党の比例票の合計は4,149票でした。西岡秀子さんの得票は野党4党合計の120%です。平戸市でも野党と市民の共闘の効果が発揮されました。

平戸市での日本共産党参院選の比例の得票率の推移

	2007年	2010年	2013年	2016年
得票率	2.70%	2.95%	5.20%	5.30%



参院選で頑張る 日本共産党平戸支部